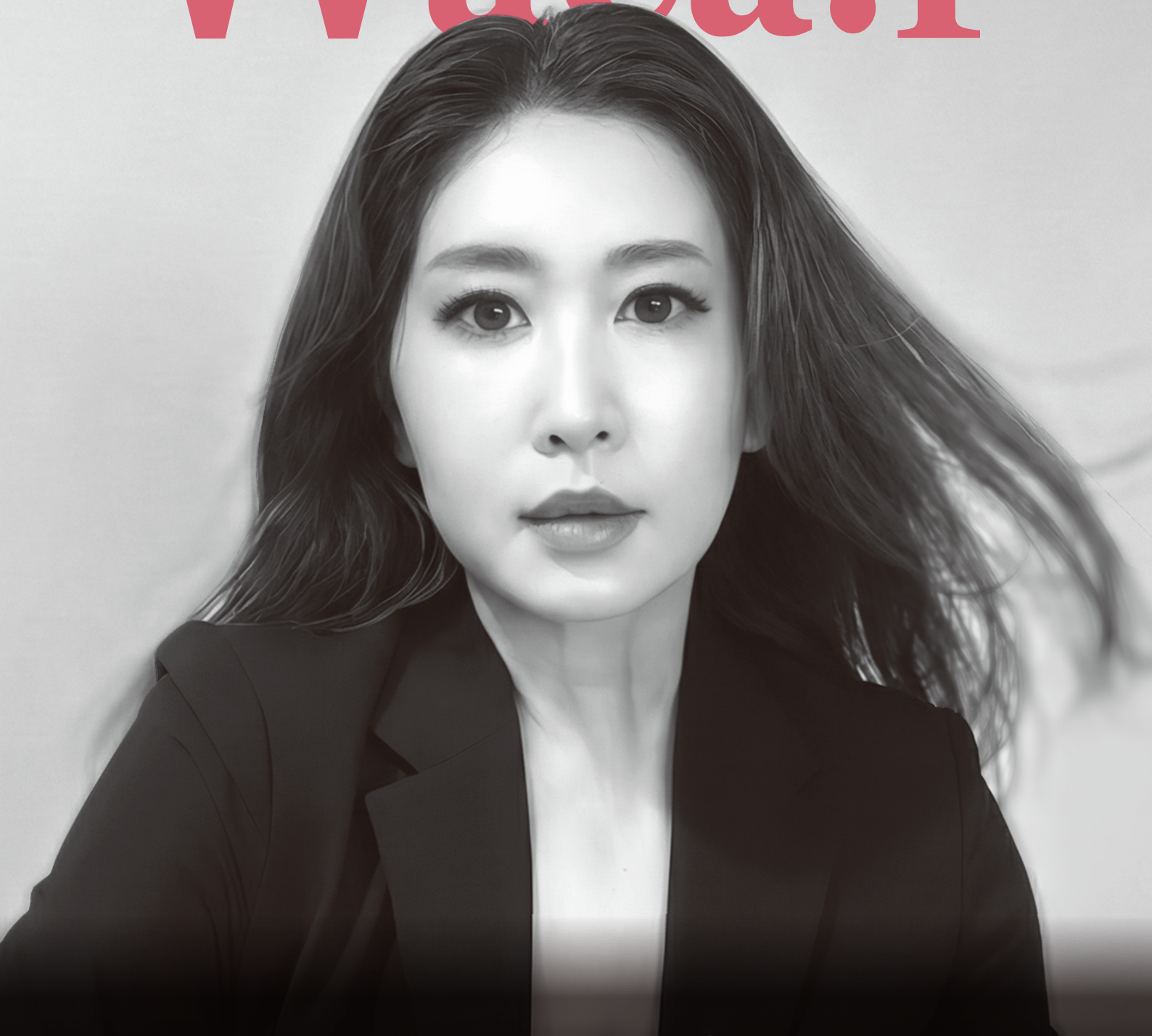


# Waca.p

和歌山県文化情報誌  
ワカピー

Vol.119



特集～音楽と出会う 街の演奏会「わかふるコンサート」今年も開催 .....	2・3
イベントスケジュール .....	4・5
感動発見！文化の「扉」 .....	7
和歌山県名匠表彰受賞者 .....	6
ピックアップインフォメーション .....	8

# 音楽と出会う

## 県ゆかりのアーティストが出演 令和8年度「わかふるコンサート」開催

今年も  
皆さんの街に  
素敵な音楽を  
届けます



和歌山を文化芸術で元気にする地域密着の音楽プロジェクト「わかふるコンサート」が、今年も開かれます。平成20(2008)年の開始以来、県内各地のおなじみの施設で生演奏を届けてきました。ジャンルの垣根を越えた個性豊かなステージは、音楽を身近に感じられると多くの共感を呼んでいます。「街の演奏会」の魅力をご紹介します。

### 文化で和歌山を元気に

《和歌山(Wakayama)を、文化(Culture and Art)の力で元気いっぱい(Full)》という願いが込められた「わかふるコンサート」。和歌山県と和歌山県文化振興財団が実施するこの事業は、演奏家たちに表現の場を提供し、その活動を広く県民に知ってもらうために始まりました。今年で18年目を迎える、歴史ある取り組みです。

### 日常に溶け込む生演奏

特徴は、普段コンサートホールを訪れる機会が少ない方でも気軽に生演奏を楽しめる「オープンな雰囲気」にあります。出演者は一般公募で選ばれた、和歌山ゆかりのアーティストたち。公立施設など日常の空間を舞台に、楽器の響きや奏者の息遣いを手の届きそうな距離で体感できるのが魅力です。

披露される曲目は、ポップスから本

格的なクラシックまで幅広く、奏者と観客が一体となって手拍子で盛り上がる場面も。こうした音楽を通じたふれあいは、そこに集う人々に感動や共感、そして心のゆとりをもたらしています。

さらに、このコンサートは演奏家たちの成長の場としての側面も持っています。出演するアーティストは、観客の反応を貴重な学びとし、表現者としての技術を磨いています。これらを背景に演奏家同士の交流が生まれ、新しいグルー

プの結成や、切磋琢磨するコミュニティの醸成にもつながっています。

### 感動をあなたの街で

わかふるコンサートは令和8(2026)年度も、下記の日程で開催される予定です。お住まいの街に音楽がやってきた際は、ぜひ足を運んでみてください。そこには音楽鑑賞にとどまらない、あなたと地域を元気にする素敵な出会いが待っています。



※過去出演者

## 令和8(2026)年 公演ラインナップ

入場無料

1

和歌山県立医科大学  
附属病院ロビー(入院患者対象)

8/29(土) 13:30開演

和歌山市紀三井寺  
811-1



2

四季の郷  
四季さい館

9/12(土) 13:30開演

和歌山市明王寺479-1  
土足不可  
無料回あり



3

紀美野町  
「動物愛護センター」

9/26(土) 13:30開演

海草郡紀美野町  
国木原372  
オリエンテーションホール  
無料回あり



# 街の演奏会



## トリオ☆スプランドゥール

(左から)  
吉田 多珠美さん(ピアノ)  
田村仁美さん(ヴァイオリン)  
重本千晴さん(フルート)

2018年結成。ピアノ、ヴァイオリン、フルートによるトリオ。クラシックをベースに自ら編曲を手掛け、映画音楽やジャズなど多彩なプログラムを届ける。アンサンブルの楽しさと、心輝く生演奏の魅力を追求している。

## 1+1+1=3以上 心に届く「音の輝き」

フランス語で「輝き」を意味する「スプランドゥール」。音楽で聴く人の心を輝かせたい—そんな思いで結成した私たちの「初わかふる」は、昨年11月、歴史ある一乗閣でのステージでした。会場の立派なグランドピアノを急ぎよ弾かせていただけることになり、その豊かな響きに包まれた時の高揚感、今も忘れられません。

何より心躍ったのは、お客様との距離感です。ホールの客席は暗くて見えないことも多いのですが、ここは皆さんの表情がすぐそこに。リズムを取る姿や、演奏後の歓声がダイレクトに伝わってきます。私たちはピアノ、ヴァイ

オリン、フルートという珍しい編成のため、既存の楽譜に頼らず、自分たちで編曲を手掛けています。「1+1+1が3以上になる」瞬間を追い求め、三人の呼吸がピッタリと合って会場が一体となった時、アンサンブルの本当の楽しさを再確認しました。

「また聴かせてね」と声をかけていただけるわかふるは、単なる演奏の場ではなく、地域の方々と心を通わせるかけがえのない空間です。次はどんな新しい「音の輝き」をお届けできるか、思い描くだけで胸が弾みます。三人で楽しみながら、皆さんの日常に音楽の彩りを添えていければうれしいです。

## わかふるコンサートと私

わかふるコンサートに出演した演奏家の皆さんに、思いを語っていただきました。



下岡 有希さん(ソプラノ・右)  
夏山 莉加さん(ピアノ・左)

新宮市を拠点とする声楽とピアノのデュオ。保育園や介護施設など、地域に根差した演奏活動を展開。子育てと両立しながら、世代を超えて誰もが楽しめる多彩なプログラムと、心に寄り添う温かな歌声を届けている。

## 母の想い歌声に 新宮から笑顔の輪を

「新宮から来ました!」と舞台でお伝えすると、会場は驚きの声と温かな拍手があふれました。昨年9月、四季の郷公園での「初わかふる」。活動拠点の新宮を飛び出し、ついに和歌山市内で歌う機会に恵まれたことは、私たちにとって新鮮で大きな挑戦でした。

高校時代からの先輩・後輩の私たち。子育ての傍ら「母になっても大好きな音楽を続けたい」と、二人の歩みも10年になります。その節目となった当日の舞台で、どうしても届けなかったのが日本歌曲の『歌』でした。『はじめての子を持ったとき 女のくちびるから洩れだす歌は この世でいちばん

優しい歌だ』という歌詞が、二人で計六人の子を育てる私たちの境遇と重なるからです。たとえ知らない曲であっても、涙を流して感動してくださるお客様を目にし、「想いは真っ直ぐ届くん」と私自身も胸が熱くなりました。

家事や育児に追われる毎日ですが、舞台で生の音を奏でる瞬間だけは、すべてを忘れて音楽のパワーに没頭できます。動画配信にはない、心と心が通い合うエネルギーが生演奏の魅力。あの場所でもいただいた「心に響いたよ」「ありがとう」という言葉を励みに、これからも新宮代表として、和歌山全域に笑顔の輪を広げていきたいです。

4

tanabe en+  
(タナベ エンプラス)

10/3 (土) 13:30開演

田辺市湊41-1  
周辺に有料☒あり



5

和歌の浦  
「万葉館」

10/17 (土) 13:30開演

和歌山市和歌浦南  
3-1700-2  
片男波公園内  
有料☒あり



6

旧和歌山県議会議事堂  
「一乗閣」

10/24 (土) 13:30開演




岩出市根来2347-22  
旧和歌山県議会議事堂  
(重要文化財)  
土足不可 無料☒あり



**営業中** 和歌山県民文化会館は  
**令和10(2028)年**  
**3月31日まで**  
**通常営業中**

大規模改修工事の時期が変更になりました!

■料金値下げで活動を応援! 只今、予約受付中

<b>会議室</b> 	<b>23室</b>	○会議室料金の全てを値下げ ◎18人部屋(12室)対象! 午前・午後・夜間 いつでも1,000円ポッキリサービス(3区分・終日利用で3,000円)
<b>ホール</b> 	<b>大:2,000席</b> <b>小: 328席</b>	○ホール&楽屋料金の全てを値下げ ◎学生の文化活動を応援! 学校が利用する場合 本番基本料金30%OFF(※無料の催事限定)
<b>展示室</b> 	<b>4室</b> <b>(大、中、小、特設)</b>	○展示室料金の全てを値下げ ◎県内文化団体応援プラン! 県内文化団体が利用する場合 施設使用料15%OFF(※特設展示室7日利用で約40,000円)
<b>駐車場</b> 	<b>475台</b> <b>(一般&amp;定期車)</b>	○一般車&定期車料金値下げ【暴風雨に強い“屋根付き”駐車場】 ◎24時間600円(繰返しOK) / 40分100円 ◎定期車月額15,240円→13,800円

**年中無休営業** (年末年始6日間以外)

施設の空き情報は、[県文ホームページ](#)からチェック可能



ホームページ



X (旧 Twitter)



Instagram

主催

● 和歌山県

● (一財)和歌山県文化振興財団

7月

## 和歌山県が贈る「ほんもののヴァイオリン体験」

はじめての方も久しぶりに弾いてみようと思っている方もご応募お待ちしております。

7月12日(日) ①11:00 ②14:00 (各約1時間)  
御坊市民文化会館 大ホール

講師:アマービレフィルハーモニー管弦楽団  
ヴァイオリニスト

参加者募集《電話でのみ受け付け》

[4月16日(木)10:00~] 各先着20名

参加料:1,500円(5歳~大人まで)

申込の際、受付内容[①名前 ②住所 ③電話番号 ④年齢]を  
お申し出ください



コンサートマスター  
井上隆平



天野千恵子

8月

## 第54回 和歌山県新人演奏会 オーディション

クラシック音楽を学ぶ優れた若人達を広く県民に紹介し、和歌山県の音楽文化の振興と向上を図るために開催いたします。

8月15日(土) 開演13:00(開場12:30)  
和歌山城ホール 大ホール  
入場料無料

募集期間  
4月1日(水)~6月30日(火)

【募集要項】

[応募資格]

- 20歳以上35歳以下(2026年4月1日現在)
- 和歌山県出身者、在住者、勤務者、在学生、卒業生
- 合格の場合、11月15日開催の「和歌山県新人演奏会(本公演)」に出演可能な方
- 過去「和歌山県新人演奏会」に出演された方は、応募できません。※アンサンブル部門は除く

[出演部門]クラシックまたは邦楽演奏(生演奏に限る)声乐・器楽・作曲・邦楽・アンサンブル(8名編成まで)

[演奏時間]5分以内(曲のカットは任意)

[演奏曲目]自由(合格の場合、本公演で演奏する曲)

[参加費]無料

[オーディション合格者による輝きのステージ]

## 第54回 和歌山県新人演奏会

11月15日(日) 開演13:30  
和歌山城ホール 大ホール  
入場料1,000円 ※高校生以下無料(未就学児入場不可)

**[特別奨励賞・奨励賞 総額20万円 授与]**



8月~10月

## 和歌山県出身アーティスト「とっておきの演奏会」

### わかふるコンサート2026(全6回) すべて無料

1

和歌山県立医科大学附属病院ロビー(入院患者対象)

8月29日(土) 開演13:30  
和歌山市紀三井寺811-1



2

四季の郷 四季さい館

9月12日(土) 開演13:30  
和歌山市明王寺479-1



3

紀美野町「動物愛護センター」

9月26日(土) 開演13:30  
紀美野町国木原372



4

tanabe en+(タナベ エンプラス)

10月3日(土) 開演13:30  
田辺市湊41-1



5

和歌の浦「万葉館」

10月17日(土) 開演13:30  
和歌山市和歌浦南3-1700-2



6

旧和歌山県議会議事堂「一乗閣」

10月24日(土) 開演13:30  
岩出市根来2347-22  
旧和歌山県議会議事堂(重要文化財)



# 和歌山県名匠表彰受賞者



黒竹製作  
黒竹職人 **金崎 昭仁**さん  
かなさき あきひと

1958年日高町生まれ。大学卒業後、証券会社勤務を経て1984年に帰郷し、家業の黒竹製造業に従事。以降、父・昭一郎氏の背中を見ながら黒竹製作に日夜研鑽。現在は国内唯一の黒竹製造工房として伝統を守りながら、後継者の育成、技術継承にも力を注いでいる。



## 黒竹の艶 未来へ守り継ぐ

### 熟練の技光る 国内唯一の工房

良質の黒竹が自生していた日高町原谷地区で黒竹製造が産業となったのは明治中期。祖父の龍三さんが工房の前身となる商店を設立したのもこの時代でした。表面が滑らかで深い艶を放つ黒竹は、日本庭園の竹垣や神社の意匠材などとして需要が拡大。ピーク時には地区の約7割の家が何らかの形で黒竹に関わるほどでした。

金崎竹材店が製造を続ける国内唯一の工房となりました。家業を継いだのは27歳。前職での営業経験から取引先と対面で話すことも得意だった金崎さんに対して、父の昭一郎さんは口下手で仕事上の説明も最小限。そのため、幼い頃から目にしてきた仕事場の光景を思い返しながらかめて父親の技術を見て学び、研鑽を積んでいきました。

作業工程は幅広く、素材となる竹を切り出し、選別、乾燥、艶出しをして出荷するまで、全工程を妻と息子の3人で手がけています。のぎりのこそ電動化されたものの、一本ごとに太さや節の長さが異なる

ため「機械化はできない」といい、中でも約900度の火に素早くくぐらせる「炙り」は、熟練の勘が頼りです。高熱で竹を柔らかくし、万力で曲がり矯正しますが、火から引き出すタイミングが遅れると竹が焦げて艶が失われてしまうため、瞬時の判断が求められます。「長くやっていると竹を手にした段階で状態が分かる。この竹は肉厚で乾燥が不十分だとか、ここは炙りの速度を少し緩めようとか。コンマ1秒の世界です」。多少の戻りを見越してオーバー気味に曲げておくのも長年の経験によるもの。この工程を経て、均整の取れた美しい艶の黒竹が完成します。



炙りは一瞬。即座に癖を見極めます

### 「未知の可能性」 世界へ発信

近年は竹工芸家の作品にも用いられ、大阪・関西万博では四代田辺竹雲齋氏のインスタレーションに金崎さんの黒竹が採用されました。空港やハイブリッドのプロモーションに使われたこともあり、その表情の豊

かさに確かな手応えを得る一方、黒竹の知名度は十分とはいえません。しかし、金崎さんはそれを「未知の伸びしろ」と捉えました。「調べると、黒竹を知る人は2割ほど。でも裏を返せば商品づくりや提案次第で広がる余地がある。その魅力を改めて世に問いたい」との言葉通り、耕作放棄地で黒竹栽培に取り組み、小中学校で竹細工体験を展開。さらに息子



炙りを経て美しく艶めく黒竹

の弘昭さんがSNSで国内外へ発信を担っています。職人となった当初は「収入源」として見ていた黒竹も、「特産として守らなければならぬ存在」へと意識が変化しました。熊野古道・紀伊路の一部でもある原谷地区。「かつては石畳の先に黒竹林が広がっていた。その復活も念頭に、観光とも結び付けながら可能性を探りたい」と前を向いています。

「未知の可能性」世界へ発信

# 感動発見！文化の「扉」

和歌山を拠点に、文化・芸術活動に取り組む団体をご紹介します。  
知る、まなぶ、体験する場に、加わってみませんか。

## 絵画

### アトリエROKO

#### 絵を通して人生を豊かに

山内久光さんがアトリエROKOを始めた背景には、和歌山の文化芸術への強い危機感がありました。美大進学者が多くない現状を変えるべく「自分にできることはないか」と教室を開設。現在では、高い合格率で評価を得ています。

コースは美大受験だけでなく、児童から大人の部まで幅広く、5歳以上であれば何歳でもチャレンジできます。大人の部では60歳から油絵を始め、25年以上描き続けている生徒も在籍。年代や職業の異なる仲間と語り、制作に没頭する時間を楽しんでいます。

ゴッホやピカソから、アートにおける右脳・左脳の働きまで、山内さんが語る多彩な話題も魅力。すべては生徒一人ひとりの個性を伸ばしたいという思いにつながります。絵を通して人生を豊かにする仲間を随時募集しています。

アトリエROKO 主宰者  
山内久光さん(左奥)  
Profile



1976年多摩美術大学卒業。帰郷後、県立高校の美術科教員として教壇に立つも、和歌山のアートを求める人たちのレベルアップを願い、1985年にアトリエROKOを設立。近年は、ジャズやラップなど音楽を絵で表現する、ことをテーマに創作活動を続けています。

丁寧な声かけでそれぞれの個性を引き出します



写生会を行うことも

#### アトリエROKO展

7月29日(水)～8月2日(日)、県民文化会館特設展示室で作品展を開催。山内さんの作品をはじめ、教室に通う子どもから大人までの力作がずらりと並びます。10:00～17:00。☎アトリエROKO ☎073-426-2420。

## 演劇

### スタジオLOOSE

#### ミュージカルで原石が輝きを放つ

スタジオ名「LOOSE」には、「裸石(原石)」と「体と心を緩め、解放する」という二つの意味が込められています。主宰するのは本山圭子さん。2021年10月、和歌山市内にミュージカルスクールを立ち上げ、昨年、同市本町にスタジオを構えました。

幼児から中学生まで約40人と大人クラス約10人が在籍。バレエやジャズダンス、芝居、歌を総合的に学び、ミュージカルという表現へとつなげています。本山さんが大切にするのは、子どもたちが持つ「ファンタジーの心」。遊びの延長のような稽古の中で、子どもたちは驚くほど自然に役をつかみ、豊かな世界観を広げていきます。

5月に上演する「オズの魔法使い」は、客席と一体化した演出や、ミュージシャンの生演奏による効果音が舞台を彩る特別なステージ。今まさに、原石の輝きが放たれます。

スタジオLOOSE主宰  
本山圭子さん(後列左)  
Profile

千葉県生まれ。2006年から4年間、劇団四季に在籍。11年に単身ニューヨークに渡りダンス修行を重ねる。14年、結婚を機に和歌山へ。子育てとスタジオ運営の両立だけでなく、自らも舞台上に立ち観客を魅了しています。



個性豊かな子どもたちの演技をお楽しみに



体いっぱい表現

#### ミュージカル上演

5月17日(日)県文小ホールでミュージカル「オズの魔法使い」上演。12:30と16:00の2回公演(開場30分前)。無料。歌とダンス20分、ミュージカル60分で構成。元氣いっぱいのステージです。☎インスタ@loose\_wakayama\_musical

## 県文会議室

午前、午後、夜間いつでも

1,000円

文化教室や  
会議、面接、  
勉強会で  
大人気!!

全室、有線LAN  
フリーWi-Fi(無料)

サービス実施中!  
※18名会議室12室対象

## 県文展示室

みんなの作品で街を元気にしよう!  
展示室15%値下

約1週間 利用で 4万円 [1日約5,700円]

※県内文化団体に限る(上記は特設展示室の例)



P 約500台収容の駐車場あり / 40分100円 / 24時間料金600円

# ピックアップインフォメーション

## 片男波公園<万葉館>

### 「万葉日本画展」

4月3日(金)～7月5日(日)

9:00～17:00 ※最終日は15:00まで

万葉集に詠まれた梅や椿などの花や、風景を日本画で表現。絵と対話しながら真摯に向き合った作品およそ30点を展示します。



増田淑子さん「紅白梅」

### 「第43回 万葉講座」

5月24日(日)

14:00～15:30

和歌山の歌枕を訪ねて、万葉歌を朗読しながら寄り道の語りを行います。



はまゆう

- 講師: 山元晃(笠田万葉サークル)
- 演題: “木の国”紀伊万葉の故知に草木花をたずねて
- 費用: 800円 ■定員: 20名 ■対象: 小学生以上
- 申込: 電話で受付中(9:00～19:00)

和歌山市和歌浦南3丁目1700 ☎073-446-5553  
🕒9:00～17:00(入館16:30まで) 🌞月曜(月曜が休日の場合は翌平日)、年末年始(12/29～1/3) ☎入館無料

## 和歌山県立自然博物館

### きのくに野外博物館

#### 「磯の生物観察会」

5月17日(日)11:00～13:00

エビやカニ、ヤドカリ、貝類など、磯の生物を観察して、生物多様性について学びます。

- 場所: 白浜町臨海周辺
- 対象: 小学生以上一般(小学生は保護者同伴)
- 定員: 30名 ■費用: 無料
- 申込方法: 往復はがきに、行事名、参加者全員の住所、氏名(ふりがな)、年齢、学年、電話番号を記入し郵送。4月26日締切(応募多数の場合抽選)



### 「クイズで楽しむ自然博物館!!」

#### 自然博物館開館日 開催中

展示をじっくり見て、クイズを解こう! 全問正解者には抽選で記念品をプレゼント!

- 場所: 自然博物館内 ■対象: 自然博物館来館者
- 館内に問題用紙を置いています。クイズを解いたら、必要事項を記入の上、応募箱に入れてください

海南市船尾370-1 ☎073-483-1777 🕒9:30～17:00  
(入館16:30まで) 🌞月曜(月曜が休日の場合は翌平日)、年末年始(12/29～1/3) ☎一般480円(350円) ※高校生以下、65歳以上、障害者は無料。団体割引あり(20名以上)

## 和歌山県立近代美術館

### 「万博のレガシー

—解体と再生、未完の営為を考える—

5月6日(水・休)まで開催中

※4月1日(水)～5日(日)は空調改修工事のため休館予定  
万博と美術の関係について、あらためて考える展覧会。19世紀から1970年までの万博を資料でたどるとともに、70年大阪万博のパビリオンに携わり、後年、県立近代美術館を設計した建築家・黒川紀章の仕事を紹介します。

黒川紀章「EXPO'70タカラビューティオリオン」(模型)1968年頃 タカラベルモント蔵



### 「下村観山展」

東京国立近代美術館 [5月10日(日)まで開催中]との巡回展

5月30日(土)～7月20日(月・祝)



下村観山は、1873(明治6)年に現在の和歌山市に生まれ、明治から昭和の生にかけて活躍した日本画家です。横山大観、菱田春草とともに、新しい日本美術の創造に取り組んだ画家の大回顧展を、生誕の地で45年ぶりに開催します。

下村観山(ディオゲネス)1903-05年頃 大英博物館蔵 ©The Trustees of the British Museum

和歌山市吹上1-4-14 ☎073-436-8690 🕒9:30～17:00(入館16:30まで) 🌞月曜(月曜が休日の場合は翌平日) ☎万博のレガシー/一般600円(480円)、大学生330円(290円) 下村観山展/未定(HP等でご確認ください) ※高校生以下、65歳以上、障害者は無料。団体割引あり(20名以上)。毎月第4土曜日「紀陽文化財団の日」は大学生無料

## 和歌山県立紀伊風土記の丘

### 新館建設工事のため2028年下半年頃まで休館中

2026年夏頃までは、現在の資料館受付で図録などの購入も可能です。また、休館中も園内遊歩道や古墳、植物園へはお越しいただけます。イベントや最新情報はHP(<https://www.kiifudoki.wakayama-c.ed.jp>)。

■和歌山市岩橋1411 ☎073-471-6123

## 和歌山県立博物館

### 改修工事のため2026年7月31日まで休館中

和歌山市吹上1-4-14 ☎073-436-8670 🕒9:30～17:00(入館16:30まで) 🌞月曜(月曜が休日の場合は翌平日)、年末年始(12/29～1/3) ☎常設展・企画展/一般310円(250円)、大学生190円(150円) 特別展/その都度、変わります。 ※高校生以下、65歳以上、障害者は無料。団体割引あり(20名以上)。毎月第4土曜日「紀陽文化財団の日」は大学生無料

## 紀の川市歴史民俗資料館

### 郷土の文化や歩みを多彩な展示で紹介

国指定の史跡、紀伊国分寺跡に隣接する文教施設。紀の川市の古代文化や歴史について、多彩な展示を通じてきめ細かくわかりやすく紹介しています。見どころは、紀伊国分寺の100分の1スケールの模型。精密に作られた模型を鑑賞すれば、天平時代の壮大な伽藍(がらん)の世界を偲ぶことができます。発掘調査の記録をまとめた大型スクリーンでの映像もあり、広大な史跡公園とともに郷土を深く学べます。

紀の川市東国分671 ☎0736-77-0090  
🕒9:00～16:00 🌞月曜・火曜、祝日の翌日、年末年始(12/29～1/3) ☎入館無料



## 和歌山県民文化会館は 大規模改修工事期間が変更になり

令和10(2028)年 3月31日まで

通常営業中



ご利用をお考えの方は、ぜひ、ご予約ください

問い合わせ

〒640-8269 和歌山市小松原通1-1  
☎073-436-1331 (年中無休/9:00～21:30)



※表紙のひと



声楽家(ソプラノ)

矢倉 愛 さん  
YAKURA AI

大阪音楽大学短大部卒業。2008年より和歌山を拠点に「THEOPERA WAKAYAMA」を主宰。2016年にブルガリア国立歌劇場でオペラ「蝶々夫人」(題名役)でデビューを飾り、ベルリン・フィルハーモニーやシドニー・オペラハウス等の世界舞台にリストとして出演。圧倒的な存在感と歌魂力で国内外を魅了する。2025年からはプロジェクト第2シーズンを始動。「オペラを身近に」を掲げ、26年4月には岩出市一乗閣で日本語上演の「椿姫」を開催予定。演奏・指揮・メディア出演を通じ、地域文化の発展に尽力している。

和歌山県文化情報誌 ワカピー Wakayama Culture and Arts Power

発行/和歌山県

編集・問い合わせ/一般財団法人 和歌山県文化振興財団(ワカフ)

〒640-8269 和歌山市小松原通1-1(和歌山県民文化会館内)

☎073(436)1331 FAX.073(436)1335

ホームページアドレス/http://www.wacaf.or.jp

2026年4・5・6月号 令和8年4月発行 Vol.119

Waca.p

※本冊子掲載の情報は令和8年3月6日現在のものです。以降、日程変更や中止等の場合がありますので、お出かけの際はあらかじめ施設・主催者等に直接お問い合わせください。